

## **第 1 研究・教育の質の向上に関する目標を達成するための措置**

### **1 国際的に通用する人材の育成**

#### **カリキュラムの見直し**

- 新カリキュラム実施（2009 年度）に向け、科目再編及び履修規程の改正を行なう。
- FD の取組を行なうため、FD 委員会（仮称）を設置する。
- 専任教員と非常勤講師との懇談会などを行ない、教育方針等を共有し、授業の質的向上につなげる。

#### **(1) 複数外国語を使える高い語学力の育成**

##### **① 複数外国語の運用能力の獲得**

- 語学教育のガイドライン作成などにより、授業の質的向上を目指した取組を段階に実施する。
- 兼修英語 I・II 階程、専攻中国語 I 階程のクラス（ネイティブ教員クラス）を少人数化する。
- 2009 年度定員変更（英米学科+20 名、中国学科+10 名、第 2 部英米学科Δ40 名）に伴うクラス分け等の検討を行なう。
- 2009 年度入学生より実施する定員変更に必要な手続きを行うとともに、アドミッションポリシーを策定し、入試広報を充実するなど、受験生への広報を充実する。
- 専任教員と非常勤講師との懇談会などを行ない、教育方針等を共有するなど、兼修語学等の教育水準の維持・向上策について検討する。
- CALL 教室を含めた情報メディア教室を授業により活用できる方策を検討する。また、情報メディア教室の整備方針の決定を行なう。

##### **② 専攻語学以外の言語の充実**

- 2009 年度新カリキュラム実施にあわせ、兼修ドイツ語Ⅲ階程・兼修フランス語Ⅲ階程の新設及び研究語学の再編を行なうため、履修規程の改正を行なう。
- 2009 年度新カリキュラムにおいて、朝鮮関係科目の開講に向けた検討を行なう。

#### **(2) 国際コミュニケーション能力の強化**

- 2008 年度入学生へ国際コミュニケーションコースの履修について、説明会を開催する。

- 2009年度国際コミュニケーションコース授業の開始に向け、教材準備及び応用視聴覚教室の設備更新などを行う。
- 受験生に対し、オープンキャンパスで模擬授業を行なうなど国際コミュニケーションコースの広報を拡充する。

### **(3) 情報化社会への対応**

- 学内ネットワークの更新を行うとともに、各種ポリシーに基づきネットワークやデータを含む情報資産の管理、評価及び改善を行なう。
- 学務システムを更新する。
- 論文や教材などのコンテンツをデジタル化し、将来的に、学内外へ情報発信するため、対象となるコンテンツの種類・範囲、著作権処理及びデータの収集方法等について検討する。
- 情報科学概論Ⅰ・Ⅱの上級科目として、教育現場で必要となる画像処理技術等を含む情報科学概論Ⅲを新設する。さらに、教育工学分野等の人材育成のためのカリキュラム充実に向け検討を行なう。

### **(4) 学生アメニティの拡充**

#### **① 学生数の増加等に伴う施設充実**

- 閲覧席数を確保するため、図書館を増築する。この増築にあわせ、視聴覚ライブラリーを図書館へ移設し、学生の利便性向上を図る。
- 適切な施設管理を行い、学内での安全確保に努める。

#### **② 老朽施設・設備の改修**

- 学生会館空調設備を更新する。
- 施設・設備を定期的に点検し、安全の確保に努める。

### **(5) 学生への生活支援と進路・就職支援**

#### **① 就職支援体制の整備**

- 2年生を対象に実施するキャリアデザイン講座を拡充する。
- インターンシップへの関心と意欲を高めるため、インターンシップ関連セミナーを実施する。
- 卒業生（2000年3月～2004年3月卒業）を対象に就業状況等を調査するため、アンケートを実施する。
- 卒業生、在学生、教員間の連携強化方策を検討する。

#### **② 学生相談の充実**

- 学生相談室（カウンセリング）の相談日を1日増加（4日/週）し、学生相談の充実を図る。
- 種々の相談窓口があることを周知し、学生生活をサポートする。

### ③学生ニーズの把握

- 2007 年度に実施した全国学生調査の分析を行ない、学生の生活状況・学習状況の概況を把握する。
- 2008 年度第 2 部英米学科入学生の実態調査を実施するとともに、学部学生についても、調査の実施を検討する。
- 既存の学生アンケート、要望等の整理・統合について検討する。

## 2 高度な研究・教育の推進体制

### (1) 外国学の研究拠点と研究成果の発信

#### ①外部研究資金の導入促進

- 2009 年度科学研究費補助金に対する新規申請件数を前年度以上に増加させる。
- 各教員が外部研究資金の獲得をより積極的に行なえるように、科学研究費補助金の採択率向上策などの支援策の拡充、支援体制などについて検討する。

#### ②大学独自の研究プロジェクトの実施

- アジア言語の分野について、プロジェクト立ち上げに向けたスタッフの組織化と国際会議開催に向けた準備を行なう。

#### ③海外の研究機関との連携

- 2007 年度に提携が成立したフランス国立高等研究院との関係を緊密にする。
- 2007 年度に提携協議を開始した研究機関との提携を可能な限り成立させる。
- 新たな提携先の可能性を探る。

### (2) 研究と教育をリンクさせた大学院教育

#### ①研究者の育成

- 国際的に活躍できる研究者育成に向けた取組として、「D 1 院生の海外学会発表」を実現するための方策を検討する。
- より魅力的な大学院とするため、修士課程カリキュラムの見直し、及び 2007 年度に実施したアンケートへの対応について検討する。

#### ②リカレント・プログラムの充実

- 「特色ある大学教育支援プログラム」が、終了する 2009 年度以降のリカレント・プログラム（英語教育学専攻（修士課程））の進め方について、具体的な計画を立てる。

#### ③海外の大学院との連携

- ダブルマスター制度及びその類似制度についての調査を引き続き行ない、在籍留学制度について検討する。

### **3 地域貢献**

#### **(1) 社会人を対象にした教育の充実**

- 2008 年度後期から新しい社会人向け講座を開始するとともに、2009 年度入学生より第 2 部の定員削減に必要な手続きを行う。
- 2007 年 12 月より拡充した図書館の市民利用制度を継続するとともに、利用状況を勘案しながら拡充について検討する。
- 様々な地域貢献策について検討する。

#### **(2) 神戸市の教育拠点としての役割の充実**

##### **① 小学校の英語教育支援**

- 神戸市教育委員会からの要請に応じ、研修計画に対するアドバイスや講師派遣などを行なう。
- 小学校での英語必修化に伴い神戸市教育委員会が実施する「平成 20 年度神戸市小学校外国語活動指導者養成研修」に協力する。

##### **② 小学校・中学校・高等学校への支援**

- 2007 年度に発足した「神戸市教育委員会・神戸市外国語大学 連携協議会」の取組のひとつとして、教育委員会並びに学校現場のニーズを踏まえ、出前授業の実施について検討する。

##### **③ 地元企業等への支援**

- 商工会議所会員へのアンケートをもとに、商工会議所が主催する講座等に本学教員を講師として派遣する。

#### **(3) 推薦入学制度の拡充**

- 2009 年度入試より、1 高校あたりの推薦枠を 1 名増加するため、入試広報を充実する。
- 対象校拡大など推薦入学制度の拡充について検討する。

#### **(4) 神戸市教育委員会との連携**

##### **① 全学的な「連携協議会（仮称）」の設置**

- 2007 年度に発足した「神戸市教育委員会・神戸市外国語大学 連携協議会」において、本学と神戸市教育委員会との包括的な協定の締結並びにアクションプランを策定する。

##### **② スクールサポーター等のプロジェクトチーム設置**

- プロジェクトチームを発足させ、スクールサポーター・学校インターンシップのさらなる充実と、教職志望学生への支援を行なう。

##### **③ 語学教員養成機関としての機能充実**

- 神戸親和女子大学との提携により、小学校教諭一種免許状が取得できる制度を 2009 年度より実施するため、2008 年度より受験生及び在学生に対し、広報を行なう。

- 教育実習事前・事後指導の充実、教職志望学生への相談窓口充実など支援策を拡充する。

#### **(5) ボランティア活動の支援体制の充実**

- ボランティア業務のマッチング、ボランティアコーナーへの登録者の増加、障害者へのサポート、活動状況の広報等を一層充実するため、ボランティアコーディネーターの出勤日数を増加（週5日）させ、ボランティア活動の支援体制を強化する。

### **4 国際交流**

#### **(1) 国際交流部門の組織的基盤の確立**

- 外国人留学生に対する日本語教育プログラムの新設、交換・派遣留学制度の拡充などを一体的に行なっていくため、国際交流センターの体制を強化する。

#### **(2) 留学支援体制の充実**

##### **①外国人留学生のための日本語学習環境の整備**

- 留学生の受入れ体制充実のため、新たに日本語インストラクターを配置し、後期より日本語教育プログラムを開始する。
- 日本語教育プログラム開始にあたり、カリキュラムの作成を始め、海外への広報活動などを行なう。

##### **②外国人留学生の増加策・支援策の検討**

- 日本語教育プログラム開始にあわせ、留学生生活支援ボランティア組織を立ち上げる。

##### **③公費派遣留学制度の充実**

- アンケート調査の結果を受けて、派遣留学制度の充実について検討する。
- 海外留学の機会をより多く学生に提供できるように、新たに短期留学の実現に向け、提携先と協議を行なう。また、従来から実施している交換・派遣留学についても、新たな提携先の開拓を行なう。

#### **(3) 海外の研究教育機関との連携の拡充**

##### **①交流相手校の開拓**

- 2007年度に引き続き、教員の交流先について調査を行なう。

##### **②研究機関との連携**

- 教員を中心とする研究者の交流を図る「海外の研究機関との連携」、大学院生の交流を図る「海外の大学院との連携」が有機的・継続的な国際交流へとつながる方策を検討する。

#### **(4) 神戸市及び地元企業の国際交流の支援**

- 国際交流を支援するボランティアグループの組織化を行ない、支援活動を行なう。

### **第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置**

#### **1 運営体制の改善**

##### **(1) 自律的・効率的な大学運営**

- 理事長・理事の選考方法を決定し、選考を行なう。
- 2009年度教員採用手続き及び事務職員採用試験を行なう。
- 事業の進捗状況を把握し、予算を最適に配分する。

##### **(2) 迅速で戦略的な意思決定システム**

- 年度計画の進捗状況を定期的に把握できる仕組みを確立する。

##### **(3) 学外との情報の受発信**

- 2009年度受験生に対し、定員や推薦制度の変更点などを含め、効果的な広報を行なう。
- 外部への広報を充実するため、ホームページを充実する。

#### **2 人事の適正化**

##### **① 雇用形態の多様化**

- 柔軟で機動的な教育研究体制を確立するため、特任教授・客員教授制度を確立する。
- 職員配置計画にもとづき、事務職員の採用試験を実施する。

##### **② 業績評価システムの導入**

- 教員の業績評価制度について、調査検討を行なう。

##### **③ 人材育成の推進**

- 外部の研修制度の活用も含め、職員に対し、研修を実施する。

##### **④ 給与制度・就業規則**

- 裁量労働制へ移行した教員の手当制度（ユニット制）対象業務を拡大する。

#### **3 事務などの効率化・合理化**

- 事務事業、事務分掌及び組織を定期的に見直す仕組みを確立する。
- サービスの質的向上を目指すため、専門知識を持つ人材を、学生のキャリア支援、国際交流、情報関連などに、契約職員として配置する。

### **第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置**

#### **1 外部研究資金その他の自己収入の確保**

##### **① 学生納付金の定期的な見直し・適正化、収納方法の多様化**

- 他大学の学生納付金の状況や適正な受益者負担等を勘案しながら、学生納付金の設定について検討を進める。
- 学生納付金の収納方法についてさらに検討を進める。

## **②大型科学研究費など外部研究資金の獲得**

- 2009年度科学研究費補助金に対する新規申請件数を前年度以上に増加させる。
- 各教員が外部研究資金の獲得をより積極的に行なえるように、科学研究費補助金の採択率向上策などの支援策の拡充、支援体制などについて検討する。

## **③多様な自己財源の確保**

- 2007年度より実施している大学振興のための寄付募集を継続的に実施する。
- 新たに実施する社会人向け講座について、適切な受講料の設定を行なうとともに、受講生確保策について検討する。
- 大学施設の有効活用を図るため、授業等学内行事に支障の無い範囲で、外部利用を推進するなど、さらなる自己財源の確保に努める。

## **2 経費の抑制**

### **(1)適切な定数管理と支出の削減**

#### **①中長期的・全学的な観点からの適正な人員配置、総人件費の抑制**

- サービスの質的向上を図りつつ、雇用の多様化、適正な人員配置などにより、総人件費の抑制を図る。

#### **②管理運営コストの削減**

- 管理運営業務全般の総点検を実施し、業務の一括契約、複数年契約のほか、契約手続きの見直しなどを進め管理運営コストの削減を図る。

### **(2)弾力的な予算制度**

- 自己点検や評価の結果を踏まえ、弾力的な予算配分を行なう仕組みを検討する。
- 年度途中での執行状況を適切に把握し、緊急課題に機敏に対応できる仕組みを構築する。

## **3 資産の運用管理の改善**

### **①学舎等老朽施設・設備の改修**

- 老朽施設・設備の改修にあわせ、省エネルギー化を推進する。

### **②A V教室等学内ネットワークの整備**

- 学内LANの更新を行い、学生のネットワーク環境を改善することにより、教育研究環境の改善を図る。
- 語学教育、情報化教育等に必要な教室の機能、必要整備数を決定する。
- A V教室等情報メディア教室の利用促進を図るため、教室管理やシステム利用、コンテンツ作成に対する相談・支援を行なう。

### **③資産の積極的活用と適正な利用料の設定**

- 大学施設の有効活用を図るため、授業等学内行事に支障の無い範囲

- で、外部利用を推進するとともに、適正な利用料金の設定を行なう。  
○2007年12月より拡充した図書館の市民利用制度を継続するとともに、利用状況を勘案しながら拡充について検討する。

#### **第4 点検及び評価並びに情報の提供に関する目標を達成するための措置**

##### **1 評価の充実**

- 2007年度自己点検評価結果を2008年度実施事業へ反映する仕組みを構築する。

##### **2 積極的な情報公開**

- ホームページにより大学の運営情報を積極的に公開するなど、対外的な広報の充実を行なう。  
○情報公開の指針を決定し、大学運営情報を適切に公開する。

#### **第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置**

##### **①環境マネジメント活動を継続**

- 電力使用量、普通ゴミ排出量、事務用紙の使用量を削減する。  
○グリーン調達を推進するとともに、大学周辺の美化活動等を実施する。

##### **②学生・教職員の安全衛生管理**

- 教職員の定期健康診断を実施する。  
○安全衛生委員会の活動を通じ、受動喫煙防止の観点から喫煙マナー向上の呼びかけなどの健康啓発や安全点検を実施する。  
○適切な施設管理を行うことにより、学内での安全確保に努める。

##### **③危機管理**

- 防災訓練の実施を通じ、危機管理マニュアルの検証及び改善を行なう。  
○教職員に対し、危機管理マニュアルにもとづく研修を実施する。

##### **④情報管理**

- 適切な情報管理を行なうため、文書を含む情報資産全体について、定期的な点検・監査など、ライフサイクルの管理を行なう。  
○個人情報保護条例及びプライバシーポリシーにもとづき、適正な個人情報の取扱いに努める。

##### **⑤法令遵守**

- コンプライアンスに関するマニュアルを作成するとともに、教職員に対する啓発研修を実施する。

##### **⑥内部統制**

- 内部統制システム運用マニュアルにもとづき、個別業務の検証・評価及びその改善などを行なうとともに、教職員に対する啓発研修を実施する。

## **第7 予算、収支計画及び資金計画**

### **1 予算（2008年度）**

別紙

### **2 収支計画（2008年度）**

別紙

### **3 資金計画（2008年度）**

別紙

## **第8 短期借入金の限度額**

### **1 短期借入金の限度額**

3億円

### **2 想定される理由**

運営交付金の受入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要な  
対策費として借り入れすることも想定される。

## **第9 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画**

なし

## **第10 剰余金の使途**

決算において剰余金が発生した場合は、教育研究の質の向上及び  
組織運営の改善に充てる。

## 予算、収支計画及び資金計画

### 1. 予算（2008年度）

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1, 4 0 2
補助金等収入	1 6
自己収入	1, 2 2 5
授業料・入学金・検定料収入	1, 1 9 2
その他	3 3
計	2, 6 4 3
支出	
業務費	2, 5 2 2
教育研究経費	2 7 5
一般管理費	1 8 6
人件費	2, 0 6 1
施設・設備整備費	1 2 1
計	2, 6 4 3

## 2. 収支計画（2008年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
費用の部	2, 5 4 1
經常費用	2, 5 4 1
業務費	2, 3 0 7
教育研究経費	2 4 6
役員人件費	2 0 7
教員人件費	1, 3 4 3
職員人件費	5 1 1
一般管理費	1 8 6
減価償却費	4 8
臨時損失	0
収入の部	2, 5 4 1
經常収益	2, 5 4 1
運営費交付金収益	1, 2 6 3
授業料収益	9 7 2
入学金収益	1 8 5
検定料収益	3 5
寄附金収益	1
補助金等収益	1 6
財務収益	2
雑益	1 9
資産見返運営費交付金等戻入	2 3
資産見返寄附金戻入	1
資産見返物品受贈額戻入	2 4
臨時利益	0
純利益	0

### 3. 資金計画（2008年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金支出	2, 7 9 9
業務活動による支出	2, 4 9 3
投資活動による支出	1 5 0
財務活動による支出	0
翌年度への繰越金	1 5 6
資金収入	2, 7 9 9
業務活動による収入	2, 6 1 5
運営費交付金による収入	1, 3 6 6
補助金等による収入	1 6
授業料・入学金・検定料による収入	1, 1 9 2
寄附金収入	2 0
その他の収入	2 1
投資活動による収入	0
財務活動による収入	0
前年度よりの繰越金	1 8 4